

請 願 文 書 表

(総合企画局)

受 理 番 号	3 4 1	受 理 年 月 日	令 和 6 年 5 月 30 日
件 名	北陸新幹線延伸計画の断念表明		
要 旨	<p>今、マスコミで北陸新幹線京都延伸問題について米原ルートの再浮上など新たな議論が巻き起こる一方、瑞浪市でため池がかれる（リニア新幹線工事に関わって）という深刻な問題も起こっている。私たちは、3月28日に、京都市長にばく大な財政負担を引き起こす北陸新幹線京都延伸計画に対して協力できないと表明してほしいとの申入れを行った。今回、京都市会に対して、京都の地下を貫く巨大トンネル断念の表明を求める。</p> <p>北陸新幹線延伸計画は3月の京都市長選挙でも、地下水の枯渇や京都市への深刻な財政影響など大きな争点になった。私たちも公開質問状を各候補に届け、一人一人の考えを聴いたが、注目したのは、主な4候補のうち誰一人として推進を掲げられなかったということである（京都新聞）。ある候補者は「×、抜本の見直しを求める」、ある候補者は「×、環境、財政を破壊する」、ある候補者は「△、課題解消なしには反対」、そして現市長も「△、環境アセス手続中で慎重に判断する必要がある」というものであった。これまで、京都の地下を巨大トンネルで貫く延伸計画については、地下水の枯渇や大量の残土、そこへのヒ素の含有や陥没問題、さらに京都市にも巨大な建設費負担が押し寄せ、とても耐えられないことなど、計画の京都に与える影響が大きすぎる問題や実現可能性のなさが認識され、市長選挙の態度表明でもこうした結果が表れたと考える。</p> <p>北陸新幹線延伸計画については、これまで推進だった政党・会派の中でも、反対や別ルートなど、異を唱える声も起こっている。私たちは、こうした現状の中で、この問題についての迷走にストップを掛けるために、京都市会が、京都の地下の巨大トンネルで、北陸新幹線を京都に通すことはやめてほしいとの態度表明をすべきと考える。無理筋の計画は、どれだけ時間を掛けても無理筋でしかない。昨年、今年と26億円以上の推進調査費が国家予算で計上されているが、こうした無駄な出費も一刻も早くやめるべきである。ひどすぎる巨大トンネル計画に固執すべきではない。</p> <p>ついでには、京都市会が、北陸新幹線延伸計画について、京都の地下を貫く巨大トンネル断念を表明し、京都のまちに大きな禍根を残す巨大トンネル計画が回避されることを願う。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	森田ゆみ子、山本 陽子、加藤 あい、井崎 敦子		
付 託 委 員 会	総 務 消 防 委 員 会		